

▼ピザミル静注 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】 【分類】
- 【単位】
- 【常用量】 1 パイアル（120～370MBq）を静脈内投与し、投与後 60～120 分に撮像を開始 [標準的な撮像時間は 20 分間]
- 【用法】 静注（生食でルート内フラッシュ要）
- 【透析患者への投与方法】
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】
- 【特徴】 線維性アミロイドβと結合
- 【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー、潮紅、血圧上昇、胸部不快感、頭痛、浮動性めまい
- 【安全性に関する情報】
- 【F】
- 【tmax】
- 【代謝】 N-脱メチル化され、主代謝物はN-脱メチルフルデメタモル（18F）（1）
- 【排泄】 主に腎から排泄され 25～60%の寄与、次いで腸管で 18～57%の寄与（1）
- 【t1/2】 18F としての物理的半減期 109 分（1）
- 【蛋白結合率】 95%超（1）
- 【Vd】 脳内に移行（1）
- 【MW】 273.32
- 【透析性】 透析されないと思われるが、半減期が短いので考慮する必要がない（5）
- 【OW 係数】
- 【肝障害患者への投与方法】
- 【小児 CKD 患者における報告】
- 【妊婦・授乳婦への投薬】
- 【主な臨床報告】
- 【更新日】 20240905

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報をについては各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。